

令和7年度 第1回東部地区交通協議会

日時：令和7年7月23日（水）19：00～20：30
場所：田道ふれあい館 3階 第2・3会議室
（目黒区目黒一丁目25番26号）

次 第

1 経過等

関係機関との調整経過について

2 議題

- （1）さんまバスの利用実績について
- （2）運賃の値上げに伴う対応について
- （3）乗車率向上等に向けた取組について
- （4）今後の進め方について

3 配布資料

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 資料1 | 関係機関との調整経過（令和7年5月開催：地域公共交通会議） |
| 資料2 | さんまバス利用実績について |
| 資料3 | 運賃値上げに伴う対応について |
| 資料4 | 乗車率向上等に向けた取組について |
| 資料5 | 今後の進め方について |
| 資料6 | 令和6年度第2回東部交通協議会 議事要旨 |

以 上

1 「目黒区地域公共交通会議」の開催概要

令和7年5月28日に開催した、令和7年度第1回目目黒区地域公共交通会議（以下「交通会議」という）において、東部地区での地域交通導入の実績と今後の進め方、北部地区での地域交通導入に向けた地域の取組状況を報告した。東部地区については、取組経過、さんまバスの利用状況、アンケート結果、実証運行への意見を踏まえた対応策（案）等の利用率向上に向けた取組、今後の取組を報告し、ルート変更、バス停新設、ダイヤ調整について異議はなかった。今後、会議でいただいた意見をもとに、取組経過を取りまとめ、適宜交通会議へ報告することが確認された。



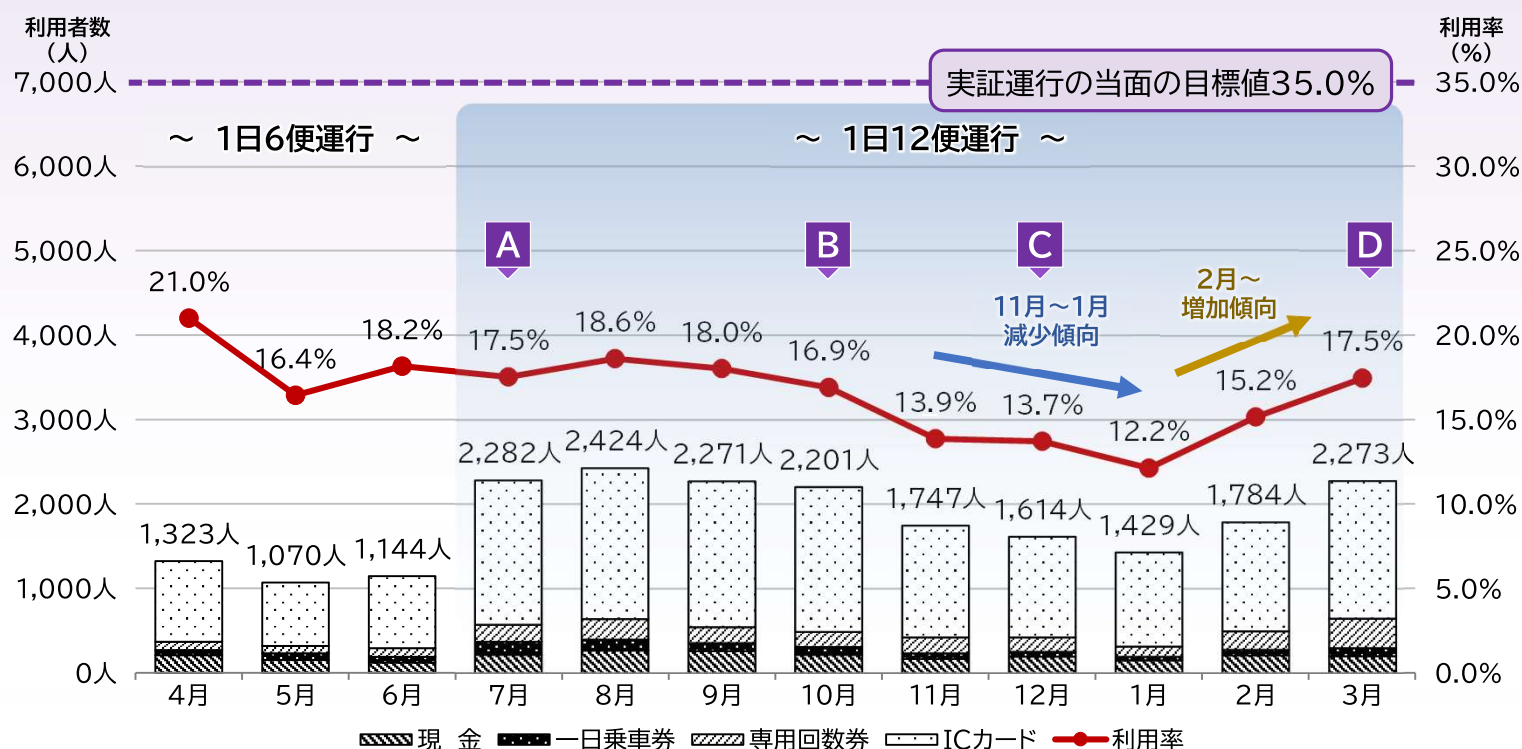
地域公共交通会議の開催状況

名 称	令和7年度 目黒区地域公共交通会議（第1回）
開催日時	令和7年5月28日（水）10:00～11:30
会場	中目黒GTプラザホール 地下1階 （東京都目黒区目黒二丁目1番3号）
出席者	24名、オンライン出席者1名、傍聴者0名
主な意見 東部地区	<ul style="list-style-type: none"> 品川区の地域公共交通会議では、さんまバス運行開始前に全体のルートとバス停について協議し、品川区におけるさんまバスの走行とバス停の設置について了承している。バス停の設置に関する再協議について、地権者、道路管理者への説明図元の状況であれば、アクティ目黒駅前までのバス停の増設は了承されると思われる。引き続き目黒区と調整していく。 令和4年度のアンケート調査より、「利用したい」が52.5%であるが、令和6年度のアンケート調査で実際に利用した人は32.6%、また実態調査での利用率は平均16.6%であると同った。そう考えると目標値へ到達するにはかなり困難であるという認識を抱いた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率が向上しない原因として、東部地区が交通の便が良く利便性が高い地域であることと、運賃の高さが課題だと考える。そのため、アンケート調査の中で対策検討に結び付く質問があればよいと思う。乗車率向上等に向けた取り組みはとても良いことだが、この取組がどの程度利用率向上につながるか見えてこない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査は、乗車数・乗車率の向上を数値である程度把握できるようなやり方を期待したい。また、収益性に関しては、ドライバーの賃上げ等世の中の動向を考え、収益性のリスクを事前に見込んだ議論ができるとよいと感じた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ノリトクキャンペーンについては、商店街としても店舗に協力を呼び掛けているが、運行ルートが通過する商店街のエリアが限られているため、なかなか協力していただけない。そのため、3年の実証運行の中で、時間帯を分けて商店街を通るルートを運行するなどの柔軟なルートの検討をお願いしたい。検討いただけた場合はイベントや割引等協力できる体制を考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・品川区ではコミュニティバスと東急バスでバス停を共有している。目黒区もお互い共有すれば互いに売り上げも上がるのではないかと考える。また、乗り換えを推奨するのであれば、1回までの乗換は無料になるといった特典を設ける等の施策を考えていかないと、さんまバスと東急バスともに利用者数は伸びないと考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・東部地区は9町会があるが、連合会でも各々の町会から運行ルートに関する要望は多い。また、目的地によってはタクシーで往復する運賃より割安で乗車することが出来るという一日乗車券の利便性をもっと周知すれば、乗車率が向上するはずだという声も出ている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ既存の公共交通が充実している地域に目黒区は公的資金を投入してコミュニティバスを運行しているのかという政策的な狙いがあるはずである。現在の運行がその政策の狙い通りに利用されているかどうか、利用者のニーズにどこまで応えられているのかチェックする必要がある。また、人員不足は避けて通れない問題で、今後の社会情勢を見据えたうえで、今の段階から人員不足の問題を考えなければならないと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・さんまバスについて、サポーター制度等いろいろなアプローチで盛り上げるための努力を実施していることは強く感じているが、人員不足の問題については今までのサービス水準が当然という利用者の意識を変えていかないと利用者の満足度は向上しない。今後、社会情勢として日本の人口構造は変化していくのだから、個人の意識も変化していかなければいけないというところに踏み込んで、福祉政策やコミュニティ政策といった他部門とも連携しながら人員不足の問題を考えていかなければならないのかもしれない。

- ・利用率は1日6便運行の4～6月平均が18.5%、1日12便運行の7～3月平均が15.9%、令和6年度平均では16.6%となっている。
- ・7～10月の間は2,000人/月超、年間では21,000人超の人が利用しているが、利用率は実証運行の当面の目標値35.0%には達していない。
- ・利用率の推移をみると、11月から1月にかけて減少傾向にあったが、2月からは増加傾向に転じ、3月には再度2,000人超となっている。

■月別総利用人数(運賃ベース)/利用率



■昨年度実施した広報活動の概要

A 集合住宅へ広報チラシの掲示

- 実施時期:
令和6年7月
- 対象:
「恵比寿ガーデンテラス武蔵」
(※エントランスでの掲示のみ)

施設内に掲示したチラシ▶



C ニュースレターの配布

- 実施時期:
令和6年12月15日(日)
～20日(金)
- 対象:
東部地区内 15,273戸
(※アンケート調査に同封して
配布)



B 目黒区民まつりでの広報

- 実施時期:令和6年10月13日(日)
- 対象:区民まつり来訪者



▲目黒区民まつりでの広報活動



D 目黒イーストエリア桜まつりでのPR活動

- 実施時期:令和7年3月30日(日)
- 対象:目黒イーストエリア桜まつり来訪者



▲目黒イーストエリア桜まつりでの広報活動



- ・運転手不足や燃料費の高騰から東急バスでは令和7年10月より運賃を改定予定。これに伴いさんまバスについても運賃及び1日乗車券・回数券等の金額設定の変更が必要となる。
 - ・昨年度の実績でも利用率は目標値を達しておらず、今回の運賃値上げによる利用控えを抑制するため、シルバーパスの提示による運賃の値下げを行い利用促進を検討する。
- 他区の状況を踏まえ運行事業者と調整を行う。

■東急バスの運賃変更の詳細

普通運賃

1日乗車券

適用時期

令和7年10月～

従前 大人(小児)	現金	230円(120円)	540円(280円)
	IC	230円(115円)	
今後 大人(小児)	現金	250円(130円)	560円(280円)
	IC	240円(120円)	

■さんまバスの運賃変更について

令和7年10月:さんまバスで利用可能な1日乗車券のみ運賃変更を予定

令和8年4月:普通運賃変更、回数券の設定変更およびアプリの導入、シルバーパス利用変更(不所持者は独自の割引証を発行)を予定

【1日乗車券に関する意見】(協議会委員意見)

- ・20円の値上げ自体は大きく感じないが、都営バスと比べて運賃が高い点に疑問がある。
- ・値上げは乗客への影響が小さいため不満はないが、普通運賃を据え置く場合、差額補填が区に及ぶことへの住民理解が懸念。
- ・値上げ自体は仕方ないと思うが、他の区と比較して普通運賃が高く感じる。
- ・値上げする分、利用者のメリットをより大きくした自由乗車等の運行形態を検討してほしい。

■普通運賃及び回数券等の金額設定の変更について

運賃(現在)

紙のみ販売

有効期間:令和7年12月28日まで有効(販売中のもの)

	現金	IC	紙回数券					アプリ回数券				
			単価	枚数	単価×枚数	販売額	差額	単価	枚数	単価×枚数	販売額	差額
大人	230	230	230	10	2,300	2,000	300	アプリ回数券 未導入				
小人	120	115	120	10	1,200	1,000	200					
小障	60	58	60	10	600	500	100					

運賃(将来)案

紙+アプリの導入

有効期間:アプリは購入日から最長6か月、紙は協議中

	現金	IC	紙回数券					アプリ回数券				
			単価	枚数	単価×枚数	販売額	差額	単価	枚数	単価×枚数	販売額	差額
大人	250	240	250	9	2,250	2,000	250	240	9	2,160	1,910	250
小人	130	120	130	9	1,170	1,000	170	120	9	1,080	910	170
小障	70	60	70	9	630	500	130	60	9	540	410	130

※導入するアプリ回数券は「RYDE PASS」を想定。当該アプリは大田区・品川区のコミュニティバスでも採用された実績がある。

■参考:「運賃が高い」と回答した年代割合とシルバーパスに関するご意見(R6アンケート調査より)



【アンケート調査で得られた「シルバーパス利用」に関する自由回答】

- ・普通運賃がもう少しお安いと利用する可能性もあるので、シルバー料金等の設定を望みます。(65歳以上)
- ・高齢者が多いので、路線バスと同一料金ではなくシルバーパスを利用可能とするか運賃を100円にしてほしい。(65歳以上)



シルバーパスと連携した
運賃の値下げによる利用促進

・運行開始後、区に対して運行ルートの見直しや新たなバス停箇所の設定、新たな利用を見込んだ運行時間帯の追加などの意見がある。

→運行ルート見直し・バス停増設についてR7. 10月の適用に向け運輸局等と調整中。

対応策（案）

① 運行ルート見直し

目黒区総合庁舎から目黒駅前行きのルートで「田道ふれあい館前」のバス停を経由

②③ バス停の増設

- ②「アクティ目黒駅前」バス停の新設→品川区調整中
③「目黒警察署前」バス停の共用

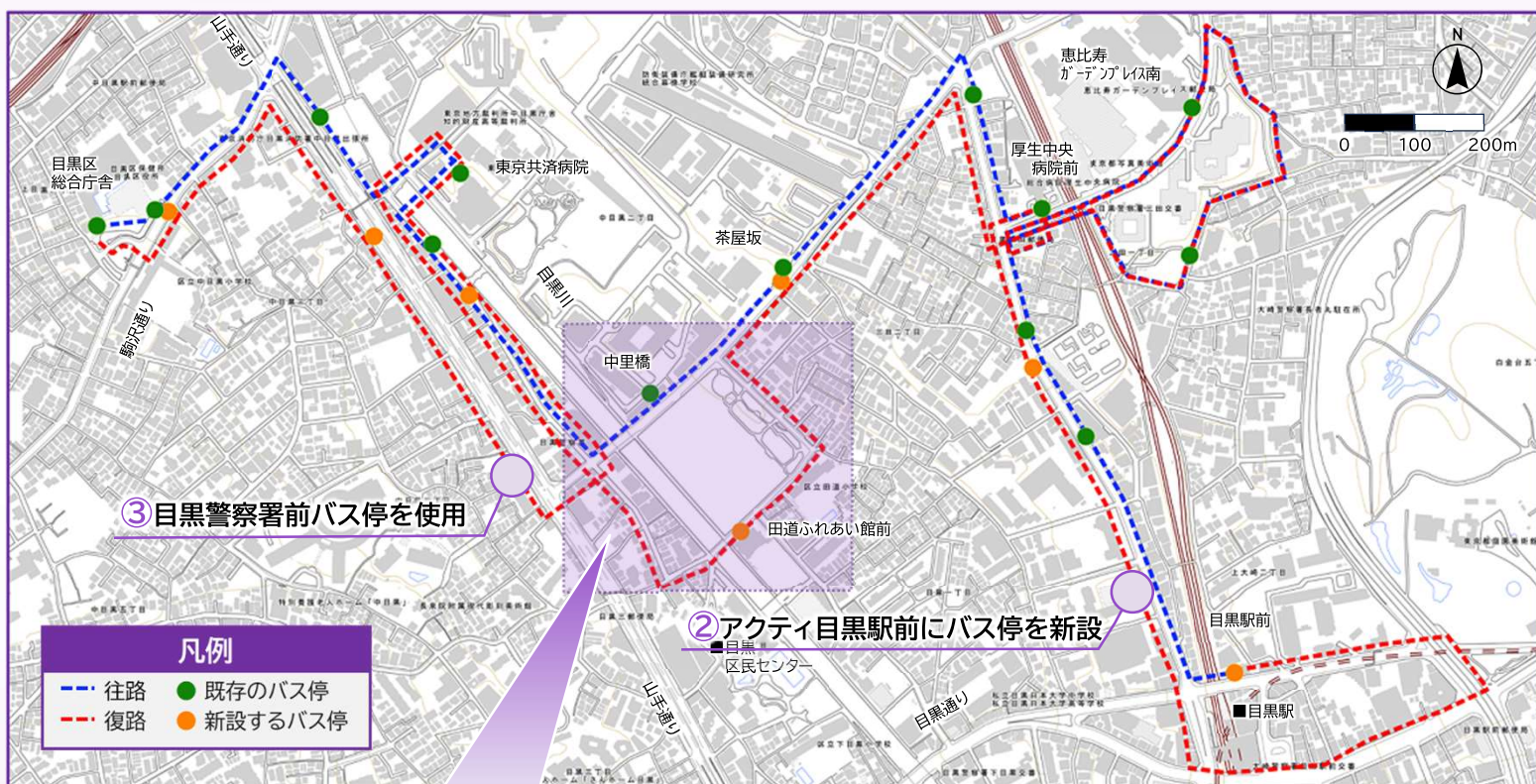
④ 運行時間帯の変更

運行ルートの見直し、バス停の追加に伴い、ダイヤを変更

12便→11便

調整結果

対応策①②③の実施箇所（見直し後のルート図及びバス停の増設箇所）



④ 現行のダイヤと改正後のダイヤの比較

ダイヤ改正に伴う新旧時刻比較表

目黒駅発					目黒区総合庁舎発				
時	現行	便数	改正	便数	時	現行	便数	改正	便数
8	24	1	12 57	2	8	32	1	-	0
9	09 49	2	49	1	9	12 57	2	07 53	2
10	34	1	35	1	10	42	1	44	1
11	19	1	26	1	11	27	1	35	1
12	04 49	2	19	1	12	12 57	2	22	1
13	34	1	06 59	2	13	43	1	15	1
14	20	1	47	1	14	28	1	03 52	2
15	05 47	2	37	1	15	10 56	2	44	1
16	33	1	28	1	16	43	1	34	1
17	-	0	-	0	17	-	0	25	1
計		12		11	計		12		11



■さんまバス運行ダイヤの改正に合わせた病院での情報発信に関する提案

- ・通院目的で利用している割合は全体で約2割であり、利用者の意見より病院を通るルートについては好意的であった。一方、利用していない人の意見はルート図が見つらい等があった。
→さんまバスの理解浸透と利用における課題の解消を図り、通院目的の利用を増加させる。
- ・利用者からの意見を踏まえて、令和7年10月より運行ダイヤを改正する予定。
→ダイヤ改正に合わせ、病院での広報強化の対応可否について今後調整する。

■病院への通院を目的とした利用割合 (令和6年度アンケート調査)

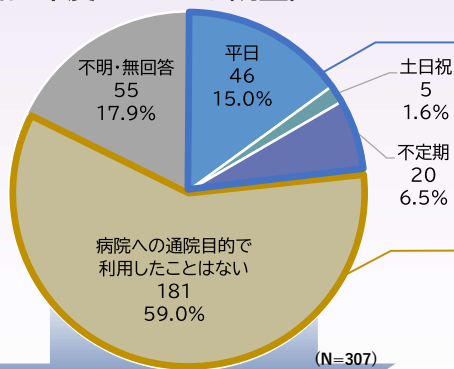
■通院利用者と利用していない人の意見のギャップ (令和6年度アンケート調査)

利用者の意見

「駅前と病院の近くにバス停があり、料金も安くて助かりました。」

利用していない人の意見

「運行ルート案の図について、厚生中央病院手前が複雑でわかりにくい。」



通院利用への理解・認知の不足

通院時における利用上の障害

課題①

周知拡大による病院利用者への理解浸透

課題②

バスルート・バス停の周知等利用における課題の解消

■病院内での実施を想定した各課題の対応策(案)

課題① 病院利用者の 理解浸透

・ダイヤ改正についてのA3判ポスターを掲示

- 厚生中央病院:入り口付近フリーペーパーラック横の壁や掲示板等に掲載
- 東京共済病院:1階デジタルサイネージ付近の壁や入り口の東急バス時刻表案内板付近にポスターやさんまバス時刻表の案内等を掲載

・発着時刻の院内アナウンス

- 院内でさんまバスの出発時刻のアナウンスを行う

・病院内でのショートPR動画放映

- 厚生中央病院:1階総合受付前モニター等で動画を放映
- 東京共済病院:1階エスカレータ横のデジタルサイネージ等で動画を放映

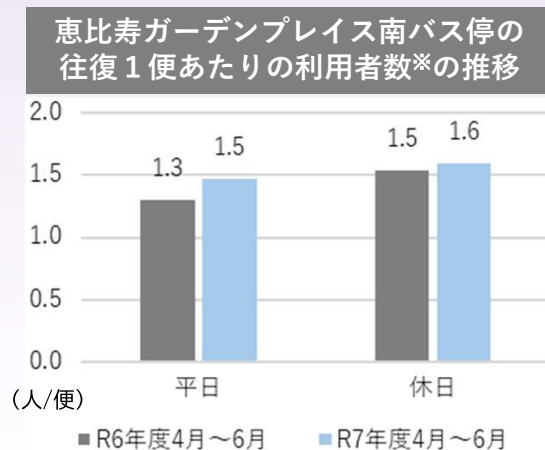
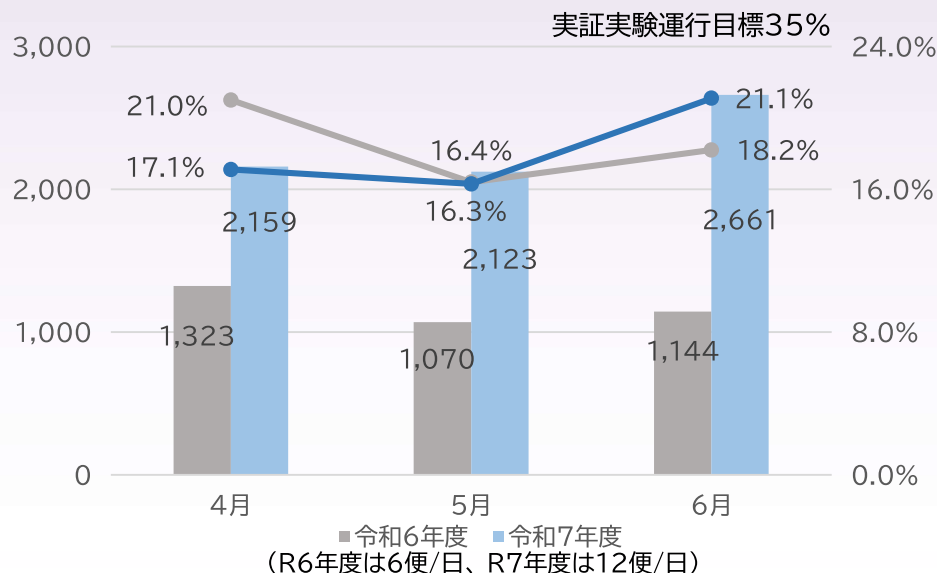
課題② 利用における 課題の解消

・バス停まで誘導する案内表示

- 病院の出入口からバス停までの経路に矢印等の案内表示を設置しバス停までの経路を明示。

- ・令和7年は昨年同月と比較し増便の影響で利用者は増加しており、利用率が少し向上している。
- ・恵比寿ガーデンプレイスの利用者数に着目すると、1便当たりの利用者数が増加傾向にあり、事業者から実績や継続意向に関するポジティブな意見がある。
→掲載店舗を広げ(フナイリバ:キッチンカー、権之助坂商店街等)、令和7年10月よりノリトクキャンペーン第2弾が開始できるよう関係者との調整を行う。(次ページに記載)

■キャンペーン実施期間中の利用者数・利用率の変動(6月実績まで)



※誤差を含むセンサーデータを集計し、バス停の利用者数を算出
※恵比寿GP南利用者(乗車+降車)/運行日数/往復便数(6便or12便)

■事業者へのヒアリングで得られたキャンペーンへのご意見



恵比寿ガーデンプレイス担当者:
当施設でも店舗と連動したキャンペーンを開催しているが、月に20件の利用数は同規模の企画と比べて良い実績かと思う。



キャンペーン協力店舗:
ノリトクキャンペーンはお客さまの来店動機となる可能性があるため、また同じような企画があれば、ぜひとも参加したい。

■キャンペーンの利用実績について

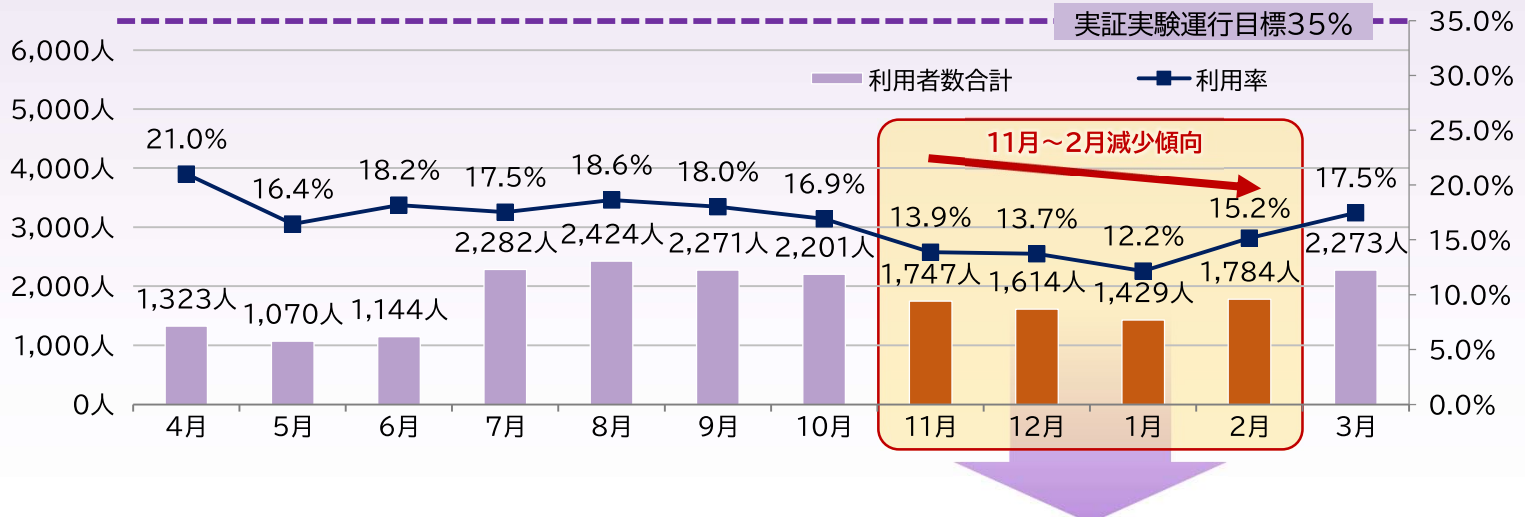
		3月	4月	5月	6月
1	LUCIS GARDEN 恵比寿 (中国料理) 恵比寿ガーデンプレイスタワー 39F	0	0	0	5
2	ラフィネ (マッサージ) 恵比寿ガーデンプレイスタワー 1F	0	0	0	0
3	WINE MARKET PARTY (ワインショップ) 恵比寿ガーデンプレイスタワー B1	0	0	0	0
4	ラ・ヴィネ (フランスワイン専門店) 恵比寿ガーデンプレイスタワー B1	0	0	0	0
5	YEBISU BAR STAND (ビアバー) エントランスパビリオン・時計広場 1F	0	0	0	0

		3月	4月	5月	6月
6	バーチョ ディ ジュリエッタ (イタリアン) 恵比寿ガーデンテラス武蔵館 1F	0	10	5	0
7	TSUTAYA SHARE LOUNGE (カフェ・シェアオフィス) センタープラザ B1	4	6	9	6
8	フロムトップ (カフェ) 東京都写真美術館 1F	0	0	0	0
9	そば処 海老民本店 (そば店) 目黒区下目黒3-11-10	1	4	5	4
計		5	20	19	15

- ・昨年度の実績から、11月～2月にかけてさんまバス利用者が減少傾向となる可能性があり、利用率の向上に向けて、区民への利用を誘発する施策の検討が必要となる。
- 掲載店舗を広げ(フナイリバ:キッチンカー、権之助坂商店街等)、令和7年10月よりノリトクキャンペーン第2弾の開始について関係者と検討を行う。
- ※なお、ルート沿線の個人商店等への協力については地域からの声かけが重要。

課題

昨年度利用実績から11月～2月の利用者数減少



対策

ノリトクキャンペーン第2弾の実施



目的

- ・利用者減への対策案としてノリトクキャンペーンの第2弾を行う。
- ・第2弾では、ルート沿線の個人商店や地元商店街など前回よりも**範囲を拡げて**協力を呼び掛ける。

期間

- ・令和7年10月～令和8年2月

協力店舗案

- ・恵比寿ガーデンプレイス
- ・目黒駅周辺(権之助坂商店街)
- ・フナイリバ:キッチンカー
- ・ルート沿線個人商店等(地域と協力して声掛け)

(4)今後の進め方について

資料5

1 令和7年度の運行計画について

現在、関係機関や地先と調整を進めている運行ルートの見直しやバス停の設置については、令和7年度第1回地域公共交通会議で合意され、国への手続きやバス停整備を行い、10月からの新たなルートによる運行を目指していく。

2 さんまバスの利用促進に関する取組について

東部地区交通協議会の取組として、さんまバス利用促進に向けたルート沿線店舗と協力して行う沿線ガイドキャンペーン（第2回）について、イベントやロコミ・SNS等による周知活動を支援していく。

3 本格運行を目指した実証実験運行の事業評価について

実証実験運行の継続判断は昨年度と同様に、以下3つの基準項目を評価する。

利用率	収支率	満足度
<ul style="list-style-type: none">利用者数 月毎の利用者数集計 <p>※利用状況の把握 バス停毎の利用傾向</p>	<ul style="list-style-type: none">運賃収入広告収入 車体ラッピング広告 車内ポスター広告等その他収入 サポーター収入	<ul style="list-style-type: none">日常移動の利便性の向上高齢者の外出機会向上地域コミュニティの創出

実証実験運行の当面の目標値

実証 35%以上	実証 35%以上	アンケート調査の満足度									
目標値(往復) 12.2人/便 R6実績(往復) 5.8人/便 R7実績(往復) 6.4人/便 <small>※R7は6月時点</small>	<table><tr><th></th><th>R6実績</th><th>当初計画</th></tr><tr><td>運賃+広告</td><td>16.8%</td><td>21.5%</td></tr><tr><td>(参考) 上記+寄付</td><td>45.1%</td><td>57.8%</td></tr></table> <small>※R7は今後算出</small>		R6実績	当初計画	運賃+広告	16.8%	21.5%	(参考) 上記+寄付	45.1%	57.8%	利用者は、「交通利便性」に対して一定程度の満足を示しているが、他項目に関しても満足度向上への取組が必要。 一方、未利用者は満足度の評価のため、一度利用してもらう取組が必要。
	R6実績	当初計画									
運賃+広告	16.8%	21.5%									
(参考) 上記+寄付	45.1%	57.8%									

利用者増加に向けた取組

- 運行ルート・バス停の見直し
- アンケート(満足度の集計評価)+協議会ニュースレター(定期的な広報による周知)
- 地域による沿線ガイド等の作成・配布
- バス広告掲載の周知等
- サポーター制度(運行支援寄付)の周知
- 満足度向上に向けた、バス利用者への利便性向上やバス未利用者へのきっかけ作り

実証実験運行の評価

東部地区交通協議会議事要旨

名 称	令和 6 年度 第 2 回東部地区交通協議会
日 時	令和 7 年 2 月 2 8 日（金）19：00～20：30
会 場	田道ふれあい館 3 階 第 2 ・ 3 会議室（田道住区会議室）
出席者 (敬称略)	協議会委員 目黒三田町会 三柴、池田 一・一町会 瀬戸 田道小学校 P T A 黒田 サッポロ不動産開発 土屋 目黒区都市基盤整備課 山下、浅岡 コンサルタント 一守、木元、
配付資料	資料 1 関係機関との調整経過 資料 2 さんまバス利用実績について 資料 3 アンケート調査結果について 資料 4 乗車率向上等に向けた取組について 資料 5 今後の進め方 資料 6 令和 6 年度第 1 回東部交通協議会 議事要旨 ※後日、欠席者宛て資料送付済。
会議次第	1 経過等 関係機関との調整経過について 2 議題 (1) さんまバスの利用実績について (2) アンケート調査結果について (3) 乗車率向上等に向けた取組について (4) 今後の進め方について
会議の結果 及び 主要な発言	1 経過等 (1) 関係機関との調整経過について 令和 6 年度第 1 回目黒区地域公共交通会議結果について、東部地区地域交通バスの実績と今後の進め方に関する報告ならびに運行経路・バス停追加に伴う警視庁打合せ・運行事業者打合せでの協議事項に関する報告を行い、委員からの意見等を報告。 2 議題 (1) さんまバスの利用実績について 実証運行開始後の利用人数・利用率について報告。7 月の増便に伴い利用人数は増加したが、11 月以降利用率が減少しており、現時点では目標値には届いていないことから、利用促進に取り組むこととした。 (2) アンケート調査結果について アンケート調査結果より満足度等について報告。運行以前の期待値と比較して運行後の満足度が低くなっており、特に未利用者の満足度が低いことを踏まえ、バス利用のきっかけ作り等の利用率向上に取り組むこととした。

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>(3) 乗車率向上等に向けた取組について 運行開始後に頂いた主な意見への対応策について、運行ルートの一部変更やバス停の追加設置、またそれに伴う便数の見直しに関する調整状況を報告するとともに、利用率向上に向けた沿線ガイドの施策について取り組むこととした。</p> <p>(4) 今後の進め方について 今後は利用率及び満足度向上のために、沿線施設と連携したバス利用機会の醸成や収入確保のための仕組みづくり等の取組を実施し、継続して効果を検証していくことを、協議会として取組こととした。</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>
-------------------------------	--